

市バス利用のマナー向上キャンペーン（第二弾報告） —スローガンを選ぼう—

1. 調査概要

調査カード配付日：2012年5月7日（月），8日（火），11日（金），14日（月）
8時30分～9時30分

配付場所：本郷駅乗車場

回収場所：本郷駅乗車場，猪高緑地（愛知淑徳大学）駅降車場

回収総数：1955部（有効回答数 1944部）

2. 回答者属性

Table 1 性別と学年による回答者属性

	男性	女性	計
1年	151	543	694
2年	119	577	696
3年	49	408	457
4年	11	71	82
その他	3	12	15
計	333	1611	1944

※「その他」は院生，職員

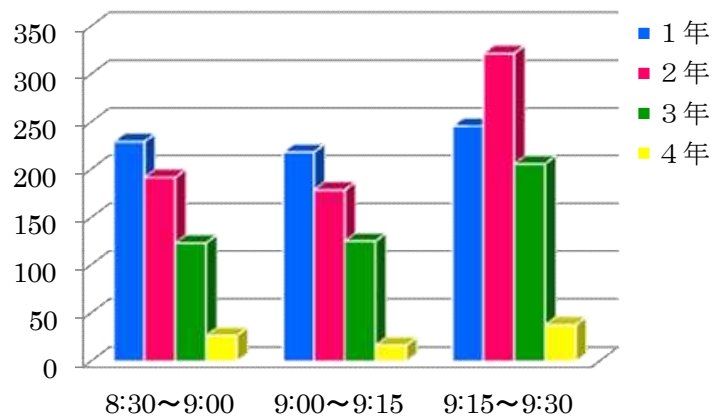


Figure 1 学年別のバス利用時間帯

3. 日頃のバス車内での私語に対する迷惑認知

日頃の通学のバスの車内はうるさいと思いますか。

「非常に思う」(4) 「やや思う」(3)
「あまり思わない」(2) 「全く思わない」(1)

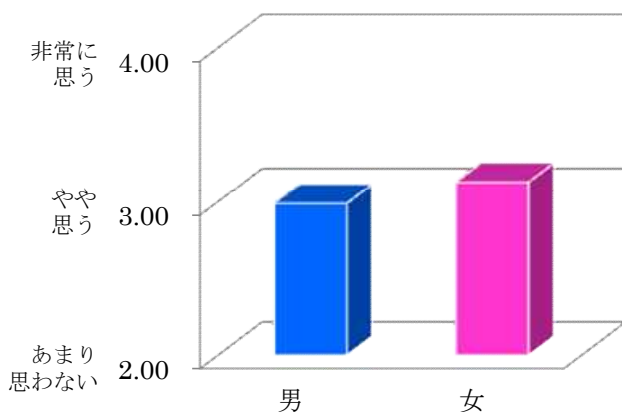


Figure 2 バス車内での私語に対する迷惑認知の性差

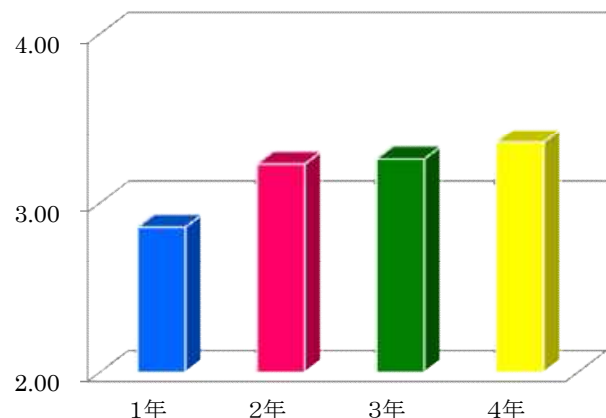


Figure 3 バス車内での私語に対する迷惑認知の学年差

- ・ 男子学生より女子学生の方が，日頃のバスの車内はうるさいと思っている
- ・ 2年生以上の方が1年生よりも，日頃のバスの車内はうるさいと思っている

4. スローガンに対する好意度

市バス利用のマナー向上キャンペーンのスローガンについて意見を聞かせてください。
次のスローガンを、「好き◎」～「嫌い×」で評定してください。

	<望ましい行動の促進>	<望ましくない行動の抑制>
基本型	バスの中では静かにしよう	バスの中では大声で話さないようにしよう
被害明示型	他の人の迷惑になるので、バスの中では静かにしよう	他の人の迷惑になるので、バスの中では大声で話さないようにしよう
同調明示型	大声で話すと周りもつられてうるさくなるので、バスの中では静かにしよう	大声で話すと周りもつられてうるさくなるので、バスの中では大声で話さないようにしよう
所属意識明示型	愛知淑徳大学の学生なら、バスの中では静かにしよう	愛知淑徳大学の学生なら、バスの中では大声で話さないようにしよう

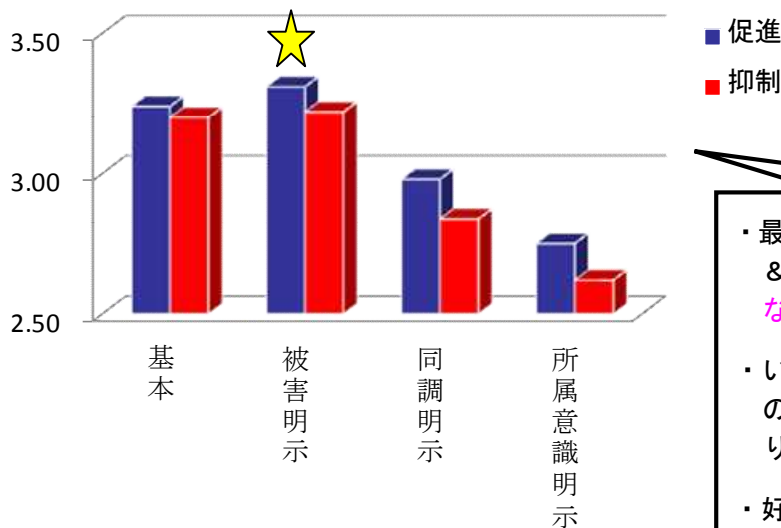


Figure 4 各スローガンに対する好意度

- ・最も好意度の高かったスローガンは、「被害明示型 & 望ましい行動の促進」である「他の人の迷惑になるので、バスの中では静かにしよう」だった。
- ・いずれの型も「望ましい行動の促進」スローガンの方が「望ましくない行動の抑制」スローガンよりも好意度が高かった。
- ・好意度は、「被害明示型」>「基本型」>「同調明示型」>「所属意識明示型」の順だった。

本キャンペーンでは「心地よく市バスを利用するための方策をみんなで考える」という目標を掲げ、単に学生たちに禁止を訴えたり、注意を与えたりするのではなく、学生達の良識やモラルを刺激し、学生たちが主体的に問題について考えるようになることを目指している。

調査の結果、迷惑行為により被害を受ける人がいることを提示されるようなスローガンが他のスローガンよりも、学生にとって受け入れやすいスローガンであることが明らかになった。

この調査結果に基づき、「被害提示型」で「望ましい行動の促進」を訴えるようなスローガンを学生から募集するなどして、マナー等について考える姿勢を刺激し続ける必要がある。